

本県アスリートの皆さんへ

～「さあ！福島プライド！！」～

公益財団法人 福島県体育協会

会 長 須 佐 喜 夫

まず、新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、感染者に対する日夜不休の努力を続けておられる医療関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

さて、夢や希望を持ち、高い目標を掲げ、日々努力を続けてこられた本県アスリートの皆さんへお伝えします。

この度の新型コロナウイルスの感染拡大は、様々な方面へ多大な影響をもたらしました。世界各地で感染が拡大する中、日本におきましても緊急事態宣言が発令され、外出の自粛や都道府県をまたぐ移動の自粛、営業の休止など国民全体で対応しなければならない状況となりました。スポーツ界も例外ではなく、今年開催される予定であった2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会が来年へ延期され、本県スタート予定の聖火リレーもスタート直前で中止され、順延となりました。また、県総体をはじめ東北総体の中止が決定され、ついには、国体までもが今年は開催されないこととなりました。競技団体ごとの各種大会も中止または延期され、目前の目標が次々と先延ばしされたり、失われたりし、アスリートの皆さんにとりましてはいたたまれないことと推察しております。安全、安心を担保できないことや十分な練習を積んだ状況での大会参加が困難なことなどを踏まえると致し方ないところではありますが、非常に残念でなりません。

どうか、アスリートの皆さんにはこの試練に立ち向かい、身近な目標の達成や次のカテゴリーに向かって努力を続けてくださることを切に願っております。これまでの努力が無駄なことは何一つありません。これからの人生で必ず役に立ちます。そして、スポーツには人々を変える力があります。大会での活躍や努力を続けるアスリートの皆さんの姿は、県民に勇気や感動を与えてくれます。県体育協会といたしましては、今後も皆さんのサポートを続けるとともに、スポーツの魅力を伝え、皆さんと一緒にこの困難を乗り越えていきたいと考えております。

最後に、新型コロナウイルス感染予防対策の徹底と新しい生活様式の定着を図りつつ、自分自身や家族など身の回りの人を守る努力を怠らず、福島の誇りを胸にスポーツライフを充実されますことを心より念願します。